

分類：臨床医学 III

授業科目名：外科治療と周術期管理（Surgery and Perioperative management）

対象学年：4年次必修

時間割コード：71633026

開設学期等：第11週～第12週

単位数：0.5

1. 主任教員

南谷佳弘（教授、胸部外科学講座 ・内 6127）

2. 担当教員

南谷佳弘（教授、胸部外科学講座 ・内 6127）

山本浩史（教授、心臓血管外科学講座 ・内 6133）

打波 宇（准教授、消化器外科学講座 ・内 6125）

角浜孝行（准教授、心臓血管外科学講座 ・内 6134）

今井一博（准教授、胸部外科学講座 ・内 6132）

佐藤雄亮（病院准教授、胸部外科学講座 ・内 6132）

矢野道広（講師、小児科 ・内 6273）

奈良美保（講師、輸血部 ・内 6116）

山浦玄武（助教、心臓血管外科 ・内 6135）

中川康彦（助教、消化器外科 ・内 6126）

田中郁信（医員、心臓血管外科 ・内 6135）

面川 進（非常勤講師、秋田県赤十字血液センター 所長）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

1. 一般目標 (GIO)

- ・外科的治療と周術期管理の基本を学ぶ。
- ・食事と輸液療法の基本を学ぶ。
- ・医療機器と人工臓器の基本を学ぶ。
- ・輸血と移植の基本を学ぶ。
- ・基本的臨床手技の目的、適応、禁忌、合併症と実施法を学ぶ。

2. 到達目標 (SBOs)

- 1) 手術の危険因子を列挙し、その対応の基本を説明できる。
- 2) 主な術後合併症を列挙し、その予防の基本を説明できる。
- 3) 創傷治癒機転とそれに影響する因子を説明できる。
- 4) 補液、経静脈栄養と経腸栄養の適応、方法と合併症を説明できる。
- 5) 主な医用機器と人工臓器の種類と原理を概説できる。
- 6) 輸血の適応と合併症、交差適合試験、血液製剤の種類と適応を説明できる。
- 7) 同種輸血、自己輸血、成分輸血と交換輸血を説明できる。
- 8) 臓器移植の種類と適応を説明できる。
- 9) 採血の手順、部位と合併症を説明できる。
- 10) 清潔と不潔の区別を説明できる。

4. 教科書・参考書

標準外科学（医学書院）、講義プリント等の配布

5. 成績評価の方法

出席状況および授業態度、統一試験の成績により評価します。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

「標準外科学」、配布プリントで予習・復習をしてください。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	6月20日 (月)	1-2 時限	講義	テーマ：肝移植 1 1) 現代の肝移植学が成立するまでの歴史と、問題解決のために行った工夫を学ぶ。 2) 肝移植の種類と適応について理解し説明できる。	打波 宇	多目的室
2	6月20日 (月)	3-4 時限	講義	テーマ：肝移植 2 1) 肝移植手技の基本を説明できる。 2) 肝移植の代表的な合併症を学ぶ。	打波 宇	多目的室
3	6月20日 (月)	5-6 時限	講義	テーマ：大動脈疾患	山浦玄武	多目的室
4	6月21日 (火)	1-2 時限	講義	テーマ：外科と免疫、外科的基本手技・外科的感染症 1) 手術の危険因子を列挙し、その対応の基本を説明できる。 2) 基本的バイタルサインの意義とモニターの方法を説明できる。 3) 主な術後合併症を列挙し、その予防の基本を説明できる。	今井一博	多目的室
5	6月21日 (火)	3-4 時限	講義	テーマ：周術期管理 一般目標：外科的治療と周術期管理の基本を学ぶ。	中川康彦	多目的室
6	6月21日 (火)	5-6 時限	講義	テーマ：動脈硬化と外科 (学修・到達目標) 1) 動脈硬化に起因する脈管疾患の診断法・病態生理を理解し、鑑別することができる。 2) 予防医学の重要性と内科的・外科的治療についての理解を深める。	角浜孝行	多目的室
7	6月23日 (木)	1-2 時限	講義	テーマ：輸血療法の概要と検査 (学修目標) 自分に必要な課題を発見し、重要性に照らして解決できる。 (到達目標) 血液型検査、不規則抗体検査、交差適合試験を説明できる。	奈良美保	多目的室
8	6月23日 (木)	3-4 時限	講義	テーマ：血液製剤の種類と輸血 (学修目標) 自分に必要な課題を発見し、重要性に照らして解決できる。 (到達目標) 血液製剤・血漿分画製剤の種類と適応を説明できる。	奈良美保	多目的室
9	6月23日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：輸血副作用と対策 (学修目標) 自分に必要な課題を発見し、重要性に照らして解決できる。 (到達目標) 輸血副反応、不適合輸血の防止手順を説明できる。	奈良美保	多目的室
10	6月27日 (月)	1-2 時限	自主学习	テーマ：		多目的室
11	6月27日 (月)	3-4 時限	自主学习	テーマ：		多目的室
12	6月27日 (月)	5-6 時限	講義	テーマ：腹部術後合併症・周術期管理	中川康彦	多目的室
13	6月28日 (火)	1-2 時限	講義	テーマ：呼吸器外科のガイドライン	今井一博	多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
14	6月28日 (火)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：食道癌手術と合併症、外科と栄養・免疫</p> <p>1) 食道癌術後合併症を列挙し、その予防の基本を説明できる。</p> <p>2) 補液、経静脈栄養と経腸栄養の適応、方法と合併症を説明できる。</p>	佐藤雄亮	多目的室
15	6月28日 (火)	5-6 時限	講義	<p>テーマ：人工臓器</p> <p>一般目標：医用機器と人工臓器の基本を学ぶ。</p> <p>到達目標：主な医用機器および人工臓器の種類と原理を概説できる。</p>	田中郁信	多目的室
16	6月30日 (木)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：血液に係わる法規、輸血と移植</p> <p>(学修目標) 自分に必要な課題を発見し、重要性に照らして解決できる。</p> <p>(到達目標) 献血の理念と仕組みを説明できる。</p> <p>1) 血液事業の概要を学ぶ。</p> <p>2) 献血の種類を説明できる。</p> <p>3) 輸血療法関連法規の概要を理解する。</p>	面川 進	多目的室
17	6月30日 (木)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：輸血の実際と自己血輸血</p> <p>(学修目標) 自分に必要な課題を発見し、重要性に照らして解決できる。</p> <p>(到達目標)</p> <p>1) 自己血輸血の種類と適応を説明できる。</p> <p>2) 各種自己血輸血法の利点、欠点を理解できる。</p> <p>3) 輸血療法の実際を学ぶ。</p>	面川 進	多目的室
18	6月30日 (木)	5-6 時限	講義	<p>テーマ：小児への輸血</p> <p>(学修・到達目標)</p> <p>1) 輸血治療に関する小児の生理的特性を理解する。</p> <p>2) 小児への輸血実施について、インフォームド・アセントの意義を理解する。</p>	矢野道広	多目的室